

出雲のミライへ「もの創り」を引き継ぐ。
私たちは若いチカラを応援します。



若いチカラが未来を拓く

建設、リサイクル産業は、地域の人々にとって日々の暮らしや地域の産業を支える重要な産業です。
現場を支える優秀な技術者を育成し、維持していくことは、未来のまちづくり、ものづくりの一翼を担う私たちの使命と考えます。



「誇り・魅力・やりがい」の向上にむけて

次世代を担う若者に夢や希望、チャレンジ精神を与え続けられるよう、男性技術者はもとより女性土木技術者もまた生き活きと活躍できる環境、仕組みづくりを進めています。作業に必要な資格(車両系建設機械、大型特殊自動車等)は入社後に取得可能です。

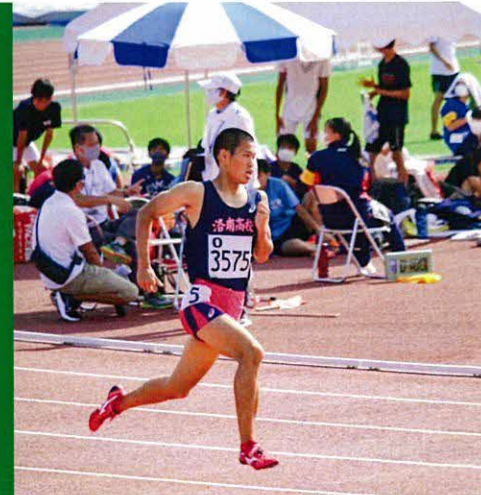


未来への熱い想いを共有し
「夢」や「ビジョン」をバックアップします。



スポーツ活動への支援

私たちは健全な社会の発展と健康づくりを支援することを目的として、スポーツ振興に取り組んでいます。
スポーツを通じ、チャレンジ精神のもと学生時代からの夢の実現や目標達成のための活動を支援しています。



随時、会社見学を受け付けております



〒693-0064 島根県出雲市里方町 501-1
TEL 0853-21-2976 FAX 0853-22-5680
@yamasakigumi



もの創りを通じ

夢のある暮らしの

実現を目指す



CORPORATE AND RECRUITING CATALOG

土木工事の施工・再生砕石の製造を通じて、豊かな地球環境を未来へ残すためにチャレンジします。

正直に生きる

企業理念

業務内容

何事も
誠実に
取り組みます

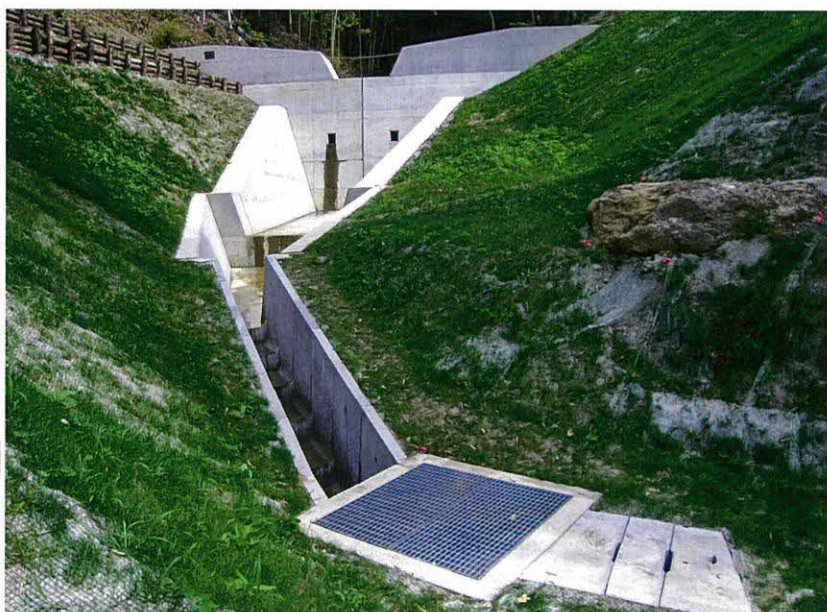
社員と
その家族の
幸せのために
努力します

決して
現状に満足せず、
新しい考えを取り入れ
光のある
会社・社会を
目指します

公共工事部門

国や都道府県、市町村などが発注する道路や橋などインフラ整備を目的とした建設工事を行います。インフラが整備されることにより生活の質の向上や雇用創出が期待できます。

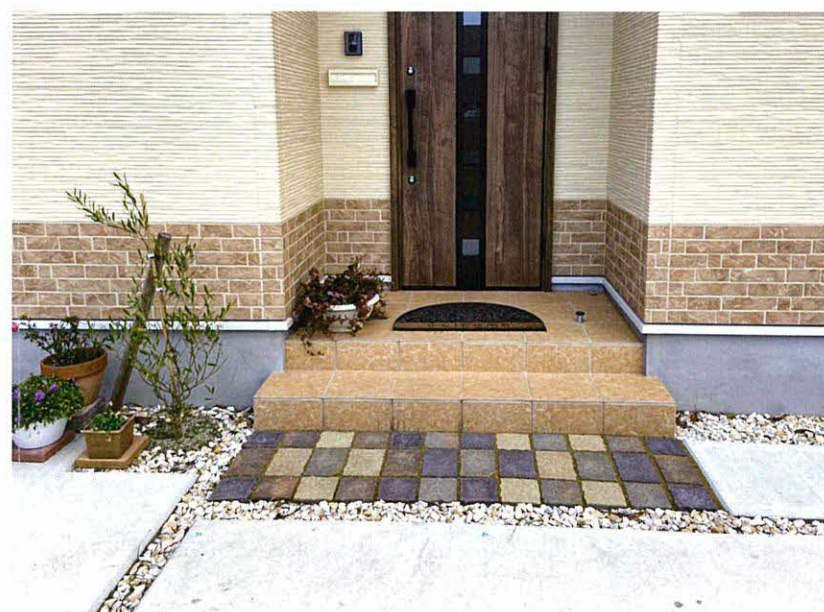
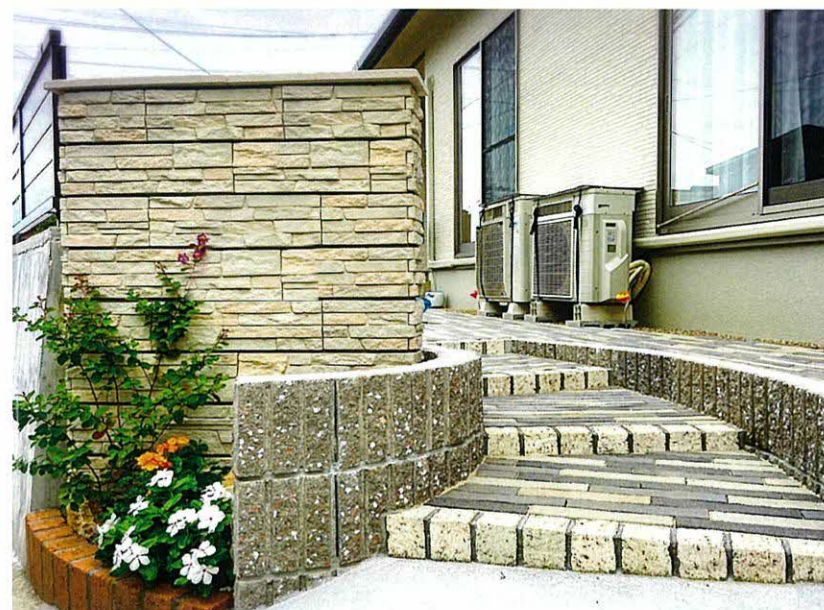
道路（トンネル含む）工事・河川（海岸）工事・ダム工事・橋梁工事・土地区画整備・水道工事など



民間工事・外構工事部門

建物の外まわりの門やフェンスなどの構造物をつくる外構工事を専門に行っています。豊かな経験と確かなノウハウをもとにお客様のご要望を丁寧にヒアリングし、しっかりと対応できるよう取り組んでいます。

敷地入口（門柱・門扉・門灯）、敷地まわり（塀・フェンス）、駐車スペース（駐車場・ガレージ）、玄関アプローチ（敷石、砂利、コンクリート）など



リサイクル部門

解体工事、土木建設などで排出されたアスファルトやコンクリート廃材をリサイクル処分して、再生基礎材を生産するプラントを保有しています。このプラントでは、安定供給可能なJIS規格基準の再生砕石（RC40・RC30）などを製造しています。



資材販売部門

山砂や川砂、粒調砕石をはじめコンクリートリサイクル砕石（RC40・RC30）など、資材販売を行っています。産業廃棄物のコンクリート塊を再度建築土木用資材として循環利用しています。



沿革

1958(S33)年4月	有限会社山崎組 創業
1985(S60)年	新社屋新築移転
1994(H6)年1月	リサイクル部門新設（プラント完成）
1994(H6)年	特定建設業認可取得
2008(H20)年4月	創業50周年記念
2018(H30)年7月	県土整備事務所特別表彰
2021(R3)年6月	全国建設業協会表彰
2022(R4)年4月	株式会社出雲設備 弊社に参画

会社概要

社名	有限会社 山崎組
代表者	山崎 育男
所在地	出雲市里方町 501-1
設立	昭和33年4月26日
資本金	2,100万円
社員数	16名 (男性11名 女性5名) ※2022年7月現在

心豊かな社会、そして若者が将来に希望の持てる社会の実現のために

私たち山崎組は昭和33年創業以来、地域の皆様と共に企業理念である“正直に生きる”の精神のもと、もの創りを通じて人々が安心して、夢のある暮らしの実現を目指してまいりました。

太古より斐伊川の大きな恵みを得ながら営んできた出雲平野。しかしながら恵み（自然）は時に大きな災害をもたらします。その都度我々は立ち上がり・復興し・学び・予防しながら発展し、今日に至ってきました。今後永遠に続くであろう恵み（自然）と上手につき合い、未来への重要な役割を我々が果たしていきます。

これからも継続的に若い力・新しい考えを積極的に取り入れ、企業価値の向上と経営の安定に努め、心豊かな社会そして若者が将来に希望の持てる社会の実現に貢献します。

何卒、より一層のご愛顧、ご支援を受け賜りますようお願い申し上げます。